

SATテクノロジー・ショーケース2023開催結果報告書

R5.3.3 つくばサイエンス・アカデミー

- 1 開催日 令和5年1月26日(木) 9:30~18:30 (対面)
- 2 会場 つくば国際会議場
- 3 参加者数 298名
- 4 開催形態 3年ぶりに対面開催で実施
ホームページ(HP)にアブストラクトを掲載
ポスターは当日の会場に掲示したほか、1/26~2/28までHPに掲載
インデクシング、特別シンポジウム等の様子を、YouTubeでライブ配信し、
その後2/28までアーカイブ配信
- 5 内容等
 - (1)ポスター発表 108件(一般104件、つくば発注目研究4件)
ホームページに掲載したポスターの閲覧数(企画・広報展示含む)
1/26(当日) 488回(ショーケース特設ページへのアクセス数974回(ポスター
の閲覧数含む))
1/27~2/28 1,635回(同上 3,070回)
 - (2)インデクシング(開会式含)のYouTubeライブ配信の視聴数 25回
1/26~2/28(アーカイブ配信) 249回
 - (3)企画展示 2件(つくば市、茨城県)
 - (4)共催機関広報展示 15機関
 - (5)先進技術企業展 3社
 - (6)発明無料相談コーナー (日本弁理士会関東会)
 - (7)特別シンポジウム(企画:高エネルギー加速器研究機構(KEK))
メインテーマ「加速器だから見える世界」
■特別講演 座長 足立伸一 KEK 理事
 - ①見えない素粒子を見る ~最先端素粒子実験~
講師 花垣和則 KEK 素粒子原子核研究所副所長 教授
 - ②加速器とは何か?加速器研究開発が目指すもの、その面白さ。今後の応用、社会
実装に向けて
講師 道園真一郎 KEK 加速器研究施設 応用超伝導イノベーションセンター長
 - ③放射光X線顕微鏡を使って、宇宙に生命の起源を探る
講師 藪田ひかる 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授
 - ④人工光合成のお手本となる天然の光合成タンパク質の構造を見る
講師 梅名泰史 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター 准教授

■パネル討論

テーマ「SDGs カーボンニュートラルに関して加速器科学が貢献できること」

モデレーター：勝田敏彦 KEK 広報室長

パネラー：（理事+講演者4名）足立伸一、花垣和則、道園真一郎、藪田ひかる、梅名泰史

特別シンポジウム(表彰、閉会式含)のYouTubeライブ配信の視聴回数 20回

1/26～2/28(アーカイブ配信) 288回

(8)プレゼンテーション賞の表彰

参加者の投票により、発表内容が優れていると認められた発表者を表彰し、賞を授与した。

5 結果

- ・ポスター発表数は昨年より17件多い108件。分野別に見ると、物質材料(26件)、生命科学(12件)、農林水産(10件)、基礎科学(10件)、土木・建築(7件)、食品(6件)など15分野であった。
- ・参加者からのアンケートでは、感想として、「自分と同じ分野や異分野のポスターを見て、議論できたのが良かった。」「様々な研究に触れられる良い機会になりました。」「異分野の知識を得ることができた。」「分野が広範なので、異なる分野の研究者等からアドバイスを頂き参考になった。」など、来場の効果としては、「必要な情報、人脈を得た」、「ビジネスを進める具体的な話をし、ヒントをつかんだ」などの回答をもらった。
- ・また、3年ぶりの対面開催で「久々のリアルは良かった。オンラインは見づらかった。」「難しい内容が多かったが、全員がていねいに説明をしてくれたので、とてもわかりやすく良かった。」「ポスター発表が1分間は面白いシステムです。関心のあるものは、展示ブースで詳細を聞けばOK。」など、対面ならではの感想もあり、総体的に異分野交流による知の触発、研究活動の活性化を図ることができた。